平成２９年度　第２回千葉市青少年センター運営審議会議事録

１ 日　時

平成３０年２月２８日（水）　１３：３０～１４：４０

２ 場　所

千葉市南部青少年センター ２階 会議室

３ 出席者

（委　員）

佐々木会長、小山副会長、池田委員、坂本委員、星島委員、中村委員

（事務局）

井谷所長、椎名所長補佐、川崎主任技師、田島課長補佐（生涯学習振興課）

４ 議　題

（１）平成２９年度事業報告について

（２）平成３０年度施設運営方針（案）について

（３）平成３０年度事業計画（案）について

（４）その他

５ 議事の概要

（１）会長及び副会長の選任について

会長に佐々木委員、副会長に小山委員が選任された。

（２）平成２９年度事業報告について

施設の利用状況、主催事業の実施内容等について報告した。

（３）平成３０年度施設運営方針（案）について

施設運営方針を説明し、承認された。

（４）平成３０年度事業計画（案）について

主催事業の計画を説明し、承認された。

６ 会議経過

（１）会長及び副会長の選任について

平成２９年１２月１日付け委員の改選に伴う会長及び副会長の選任を行った結果、会長に佐々木委員、副会長に小山委員が選任された。

（２）平成２９年度事業報告について

井谷所長より、資料 P1～7 及びパワーポイントの資料を使い、平成２９年度（１月末）の施設の利用状況、主催事業の実施状況等、川崎主任技師より施設の管理について報告した。

（佐々木会長） 質問、意見等はあるか？

（池 田 委 員） 階層別利用者数に幼児を含むとあるが、幼児の利用はどれくらいあるか。

（井 谷 所 長） 「おひさまっこ倶楽部」「おたまじゃくし」という団体が定期的に使っている。それ以外では、保育所関係等の利用がある。

（佐々木会長） 幼児だと親と一緒か。

（井 谷 所 長） 幼児には親が必ず着いてきます。

（中 村 委 員） 階層別利用者の中学生の割合が、今年は昨年の倍ちかく増えているが、どのような理由からか。

（椎 名 補 佐） 中学校演劇発表会の観覧者が各学校とも今年度は多かったためです。

（小山副会長） 自分の学校の発表を見ようと思っても、入替時は並んでいる状況でホールの中はいっぱいであった。中学校の演劇発表会は定着してきていると思う。中学生でもすばらしい演劇をやるので、保護者も涙しながら見ていたりして、一見の価値があると思う。蘇我中学校の演劇部は男子にも人気があり役者志望もいる。

（中 村 委 員） 関心が高まっているんですね。

（佐々木会長） 参加する学校は定着しているのか。

（小山副会長） 定着している。

（井 谷 所 長） 資料の３ページに参加中学校を記載してある。市外の中学校の参加もある。

（佐々木会長） 中学校演劇発表会はどこが主体となって行っているのか。

（小山副会長） 千葉市中学校演劇連盟が中心となって行っている。

（佐々木会長） 平成２９年度事業報告について今回は報告のみとし、次年度第１回目に承認について審議することとします。

（３）平成３０年度施設運営方針（案）について

井谷所長より、資料 P8～9 により、施設運営方針について説明した。

（佐々木会長）　意見・質問等あるか。
特になし。
（佐々木会長）　運営方針について、承認される方は挙手を。
【全員一致で承認された。】

（４）平成３０年度事業計画（案）について
井谷所長より、資料 P10～P11 を使い、平成３０年度の事業計画（案）について説明した。

（佐々木会長）　新しい講座も行うようだが意見・質問等あるか。
（佐々木会長）　「楽しく体験茶道教室」とあるが、施設的にはどのようになっているのか。
（井谷所長）　３階の和室に茶室があり、茶道を行える道具が揃っている。また、今年度に畳の入替をすることもあり、新規にこの講座を企画した。講師は文化連盟からの紹介により行いたいと思う。お湯を使わずに水でも出来るということなので、今後講師と相談しながら安全面に配慮し開催したい。
（小山副会長）　施設の特徴を生かしたという事で、茶道教室はすばらしいと思う。
また、小学生の英語の教科化ということで、小学校では頭が痛い事ではないかと思う。中学に入学して、英語に関しては好きな子と見たくもない子といるので、小学校２年生からの英語というのは非常にいいと思う。
「大賀ハスを育てよう」は実際に大賀ハスをここに持ってくるのか。
（椎名補佐）　はすの育て方についての講座です。
（井谷所長）　公民館でも行っているが、今回センターでも行ってみようという事で企画した。
（坂本委員）　川戸の小学校では地域のボランティアにより行っている。
（中村委員）　学習支援ということで、今回「キッズ・イングリッシュ南部塾」を小学校２年生対象に開くという事で非常にいいと思う。千葉市では英語は小学生の場合３・４年生は週１時間、５・６年生は週２時間行う事になっている。そんな中で保護者も関心が高まっていると思う。子どもたち自身も３年生が英語をやっているのを気づくので、この講座はタイムリーで多くの子供たちが集まって利用率も高まるのではないかと感じた。
「ときめきサタディ」だが、講座数を１０講座から１３講座に来年度増やしている。今年度の実績も募集以上の子供たちが集まっている、そんな中で今回積極的に講座数を増やしていて、子どもたちにとっては非常にありがたい。夏休みの講座も今年３講座が来年は５講座になって、子どもたちは夏休みが一番動けるので、そこに関心の高そうな講座を入れてもらっていると子どもの集まりがいいのではない

かと思う。また、科学人気を受けて科学的なものを増やしたり、外部の力をうまく活用していくという考え方も、活動がより良い方向にどんどん広がって発展していく感じを受けた。よい講座にしてもらえればなと思った。

（佐々木会長）　英語学習も千葉市は全国に先駆けて行ってきた。充実するのではないかと思う。

（佐々木会長）　３０年度事業計画（案）について、承認される方は挙手を。

【全員一致で承認された。】

（４）その他

議事録の確定について、会長に承認してもらうことを確認した。